

塩谷郡市医師会だより

平成13(2001)年9月17日 第20号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成13年度第3回役員会

平成13年9月10日午後6時30分より・医師会事務室にて開催



出席役員：黒須・阿久津・後藤・小林祐・池田・齋藤・小林正・橋本・尾形直・大野・戸村・西川・尾形新・川原（事務長）

議題

1) 塩谷郡市医師会小児救急医療について

黒須会長、小林正理事を交えて郡市内の小児科専門医と会合を開き、県医師会の案を検討した結果が報告されました。

県の案は、塩谷総合病院に「休日夜間急患センター」を整備し、19時から23時までの夜間、および休日の昼間に小児科診療可能医師を1名配置する、というものです。

それに対して、会合では、この県の案を実現することは無理である、という結論でしたので、その結果をもって、県医師会で検討してもらうことになりました。

この問題に関して、「脱水症」と「喘息」が救急に対応しなくてはならない小児の疾患であるが、当医師会には専門医が少ない、という問題点が指摘されました。

小児救急委員会は特別に作らないで、役員会で議論して、必要に応じて小児科専門医の意見を聴くことにしました。

2) 災害時医療活動体制について

郡市医師会の会員の構成が変わっている部分があるので、確認して変更することにしました。

変更した体制は後ほど郡市医師会から送付します。

3) その他

医師連盟について
資金の行き先が会員の納得を得るような方法。会員の個人の契約になる。
郡市支部の問題。
上記問題点が検討されました。
結論はできませんでした。

インフルエンザの予防注射について

国会で承認されれば、65歳以上の方に接種する場合は費用の一部を自治体で負担することになります。価格は各市町と医師団で相談して決めることとなります。

予防接種に関する話題

BCGなど、能書に記載されているように実施し、予防接種の要綱に則って行って下さい。

生保・損保の集金方法の変更（金融庁の指導で栃木県生保協会から申し入れ）

従来は郡市医師会の保険料の3%

新規契約からは郡市医師会1.5% 県医師会1.5%となります。

高血圧症の実態調査に関する協力依頼

13年度医療実態調査があります。

医師国保・保険証のカード化。

各家族にひとり1枚ずつ発行されます。

医師会から送付されたら旧保険証は速やかに送り返してください。

雇用時の検診の項目から色覚検査を廃止します。

県広報委員会から

第3号の原稿を募集しています。

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
URL http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/ M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	戸村光宏 mtomura@sirius.ocn.ne.jp 尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp 坂和 shioya@tochigi-med.or.jp